

第 1 号議案

令和 6 年度 事業報告

1. 法人をめぐる状況と事業概要

感染症の状況は下記のとおりであり、特に年度初めの 4 月に従来型特養でおきた新型コロナウイルス感染は入院者数の増加に繋がり介護保険事業収入減に大きく影響した。

記

【従来型特養】

(新型コロナウイルス感染) 3/30～4/25 入居者 25 名感染 職員 3 名感染

【デイサービス】

(新型コロナウイルス感染) 10/8～10/25 利用者 10 名 職員 2 名感染

(インフルエンザ感染) 1/13～1/15 職員 3 名

【ショートステイ】

(新型コロナウイルス感染) 10/9～10/19 利用者 8 名 職員 2 名感染

(新型コロナウイルス感染) 12/22～25 利用者 8 名 職員 2 名感染

(インフルエンザ感染) 12/25 職員 2 名

【ユニット型特養】

(インフルエンザ感染) 12/29～12/30 利用者 1 名 職員 1 名感染

(新型コロナウイルス感染) 1/3 職員 1 名感染

次に、恒久的な職員不足は更に拍車が掛かった状況にある。介護保険制度上の人員配置基準を確保することも厳しいなかで、当該制度を遵守するために当法人が運営する各介護保険事業所の利用受入制限を余儀なくされており、収入減の要因となった。

2. 業務の達成状況

上記 1 の状況等により、令和 6 年度の利用率（前年）は、従来型特養 88.4 (91.2) %、ショートステイ 68.6 (67.7) %、デイサービス 88.3 (88.0) %、グループホーム 98.5 (98.0) %、ユニット型特養 92.0 (89.7) %である。

支出（経費）においては、機械設備損傷の修理をはじめに、老朽化（築 23 年経過）した各種機械設備等の故障等が相次ぎ、支出を抑制することが困難であった。また、前年度同様に光熱費及び食材費の高騰の影響で経費増となった。